

「音声音響信号処理の基礎と実践」(次世代信号情報処理シリーズ2) 正誤表

頁	行・図・式	誤	正
30	図1.27 キャプション	ノッチフィルタの振幅特性 $r$ による変化	$r$ によるノッチフィルタの振幅特性の変化
49	脚注†1	振幅スペクトルも位相スペクトルも	振幅スペクトルは
53	上から 8行目	無声音の場合, 白色雑音で	無声音の場合, 音源は白色雑音で
101	上から 3行目	いずれも確率密度関数の条件を	いずれも式(1.3)の確率密度関数の条件を
121	式(5.14)中	$\mu \Delta_m(n)$	$\mu_0 \Delta_m(n)$
〃	上から 6行目	$\mu$	$\mu_0$
〃	上から 7行目	時刻 $n$ における	時刻 $n$ の
〃	式(5.16) 下から2行目	$-E [x(n-m)(d(n)-y(n))]$	$-2E [x(n-m)(d(n)-y(n))]$
〃	式(5.16) 下から1行目	$-E [x(n-m)e(n)]$	$-2E [x(n-m)e(n)]$
122	上から 4行目	$m=0, 1, \dots, M-1$ である。	$m=0, 1, \dots, M-1$ であり, $\mu=2\mu_0$ である。
129	上から 12行目	$d(n)$ の逆位相信号となれば	$d(n)$ と一致すれば
185	下から 2行目	また, $c_L(n)$ は	また, $L$ はケプストラムを低次に制限するためのパラメータであり, $c_L(n)$ は
188	上から 1行目	シミュレーションを行った。スペクトログラムの作成は	シミュレーションを行った。ここで, 式(6.43)において $N=512$ , $L=26$ とした。スペクトログラムの作成は

①

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。  
下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。

<https://www.coronasha.co.jp>